



きんにく うえ けっかん 筋肉の上はどうして血管があるの

けっかん きんにく うえ からだ 血管は筋肉の上だけでなく体のすみずみに

てあし み ひ した あお けっかん み けっかん じょうみやく
手足を見ると、皮ふの下に青いすじの血管が見えます。この血管は静脈とよばれ、この
なか じょうみやく なが
中を静脈血が流れています。

けっかん じょうみやく どうみやく けっかん ちよつれい まんぶん
血管は静脈のほかに、動脈とよばれる血管と、直径が100万分の1ミリメートルとい
もうさいけっかん からだ なか たいしやう けっかん きんにく うえ
われる毛細血管があります。わたしたちの体の中には、大小さまざまな血管が、筋肉の上
なか した め
だけでなく、中にも、下にも、あみの目のようにはりめぐらされているのです。

けっかん なが ちきゅう まわ はん 血管の長さは地球を2回り半

おとな からだじゆう けっかん あ なが やく
ふつうの大人の体中にある血管を、すべてつなぎ合わせると、長さは約10万キロメー
ちきゅう かいはん まわ なが
トルにもなるといわれています。これは、地球を2回半も回る長さです。

どうみやく じょうみやく 動脈と静脈のちがい

どうみやく どうみやく けつ じょうみやく じょうみやく けつ なか さんそ りやう く
動脈には動脈血、静脈には静脈血が流れていますが、中にとけこんでいる酸素の量で区
べつ さんそ けつえき どうみやく けつ すく じょうみやく けつ
別されます。酸素をたくさんふくんでいる血液が動脈血で、少ないほうが静脈血です。

どうみやく あら さんそ えいよう からだ はこ じょうみやく けつえき しんぞう
動脈は、新しい酸素や栄養を体に運ぶはたらきをし、静脈は、よごれた血液を心臓にも
どすはたらきをしています。(監修 保志 宏)

